

足羽川ダム環境モニタリング委員会

現地視察会、意見交換会の概要について

1. 日 時：平成 27 年 8 月 25 日（火） 13:00~16:45

2. 視察場所：足羽川ダム貯水地周辺及び水海川分水堰周辺

3. 委 員：

奥村 充司 （福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授）

久保上宗次郎（猛禽類研究家）

中村 幸世 （福井市自然史博物館 学芸員）

◎ 福原 輝幸 （福井大学大学院 工学研究科 教授）

松田 隆喜 （福井農林高等学校 教諭）

◎ 委員長（* 50音順・敬称略）

※意見交換会について中村委員は、所要のため欠席。

4. 現地視察結果の概要

- 足羽川ダム工事事務所より、足羽川ダムの環境モニタリングの状況の報告を行った。
- モニタリング計画に基づき、環境調査を実施されていることが確認された。
- 保全対象種の植物について、移植状況を確認し、計画どおり保全措置がされていることを確認した。
- 付替道路・工事用道路の施工状況が確認された。
- 現地視察実施後、委員間で意見交換を行い、以下の意見が出された。
 - ・保全対象種が多く確認されることを想定し、移植先の適地について色々な候補地の検討を行うよう意見をいただいた。
 - ・移植先の今後の保全、維持管理手法について検討を進めるよう意見をいただいた。
 - ・クマタカと工事の状況についてモニタリングを行い、今後の大規模工事実施時の保全対策の検討を進めるよう意見をいただいた。
 - ・ヤマセミについて、モニタリングを実施されたいとの意見をいただいた。
 - ・現在の工事沿道の状況は整理整頓されているが、工事現場がきれいであることは、生態系にも良いことであるため、今後も留意して施工されたいとの意見をいただいた。
 - ・施工業者をオブザーバーとすることで学識者、施工業者、事業者の3者が連携してモニタリングができようように検討をするよう意見をいただいた。
 - ・ダム本体等の模型実験の状況等について今後の委員会で報告をするよう意見をいただいた。